

つながる子どもの育ちと学び

はじめの いっぽ

～保幼小連携、ここから始めよう～

子どもの育ちや学びは
どのようにつながって
いるの？

どうして保幼小連携が
大切なの？

何から始めたら
いいの？

子ども達のために、
どんなつながりが
必要なの？



令和5年3月

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター



遊びを通して学んでいます



園の先生から一言

子どもたちは、遊びを中心とした生活の中で、友達や保育者とやり取りをしながら、自らの考えを広げていきます。子どもたちが自分から気付いたり、工夫したりできるよう、**主体的・対話的で深い学び**の視点に立って環境構成を工夫しています。

子どもをありのまま認め、お互いのよさに気付けるよう、また「結果」ではなく、「過程」を重視しながら援助しています。

知識及び技能の**基礎**

思考力、判断力、表現力等の**基礎**

学びに向かう力
人間性等

びちゃびちゃして気持ちいい！

どんどん水を入れてみよう。

川ができたよ。

水が止まっちゃうよ。

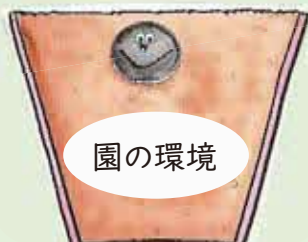
みんなで川をつなげよう！

坂にしたら流れるかな。

主体的・対話的で

どうして保幼小連携が大切なの？

START!



園の環境

園の工夫された環境の中で心と体をめいっぱい使って、遊び、学ぶ子どもたち。

すくすく



子どもたちは、遊びの中でたくさんの力を伸ばしていきます。

わくわく

小学校の環境



小学校に入学して、新しい環境の中で、園で育んだ力をさらに伸ばしている子どもたち。

でも…



新しい環境の中で戸惑ったり、培った力が上手に発揮できなかったりすることもある。

教科等を通して学んでいます



小学校

葉っぱが大きくなって
つるも伸びてきたよ。

元気に育つと
いいな。

昨日学習したことが
使えそうだよ。

知識及び技能

学校の中には、部屋が
たくさんあるね。

思考力、判断力、
表現力等

他の考え方も
ありそうだね。

学びに向かう力
人間性等

もっと調べてみたい!

小学校の先生から
一言

小学校では、教科ごとに、系統的に整理された学習内容を学んでいます。さらに、子どもたちが自ら学ぶことができるよう、**主体的・対話的で深い学び**の視点に立って授業構成を工夫しています。

特に低学年では、幼児期の遊びを通した総合的な学びから、各教科等における自覚的な学びに円滑に移行できるよう、生活科を中心に合科的・関連的な指導を行うなど工夫しています。

深い学びの実現

だからこそ!

子どもに関わる大人みんなで、子どもの育ちと学び
をどうつないでいくのか話し合うことが大切です!

どのように環境
の構成を工夫し
たらよいか?

園で経験したことが
小学校でも生かせる
よう授業を工夫し
てみよう。

子どもが安心で
きるような先生
の関わり方は?

乳幼児期に伸ばした
力があるからこそ、小
学校以降も成長して
いけるのですね。

育ちと学びをつなぐ
ことで、その子らしく
「生きる力」を伸ば
していけるように!

ぐんぐん

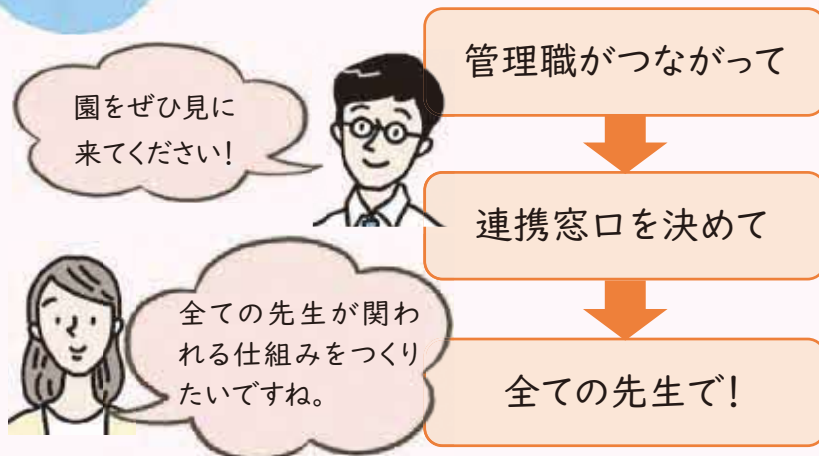


STEP 1

先生がつながる

子ども同士のつながりをつくるために、まずは先生がつながりましょう。

どうやってつながったらいいの？



こんなところからスタート！

- 園だより、学校だよりを送り合う。
- 園や小学校の参観日に訪問する。
- 夏休みなどを利用して、小学校の先生が園で保育体験をする。
- 園内研修・校内研修に招待し合う。
- 研修会等の機会を利用して意見交換する。
- ICT を活用したりリモート会議、保育や授業の配信をする。

子どものこと、保育や教育のこと、みんなで語り合おう！



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)を話し合いの手掛かりに！

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

↓↓↓ くわしくはこちらから ↓↓↓

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、幼児教育及び保育において育みたい資質・能力が育成されている小学校就学時の具体的な姿です。



STEP 2

子どもがつながる

子ども同士のつながりが、子どもの育ちと学びを豊かにします。

お互いに
無理なく

まずは気軽にスタート!

いつもの活動や行事に
ちょっとプラス

おさんぽコースに
小学校を入れたり…

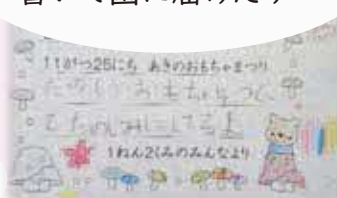
お互いの行事を
応援に行ったり…



廊下から授業
参観したり…



学校に招待する手紙を
書いて園に届けたり…



小学校のグラウンドで
遊んだり…



「新しいことを始める」のではなく、いつもの活動や行事などにちょっとプラス!
保幼小の先生でアイデアを出し合ひましょう。

いっしょに遊ぼう!

いっしょに学ぼう!

1年生 生活科
「あきのおもちゃまつり
をひらこう」



○△小学校の秋のおもちゃ
祭りへようこそ。

コツがあるんだよ。



どうやって説明したら
わかりやすいかな?



どんぐりゴマを上手
に回せないなあ。

どんなルールにし
たらお客さんに楽し
んでもらえるかな。

その後、小学校では…

もっとお客さんに楽し
んでもらうにはどうし
たらいいかな。



言葉ではルールが伝
わらなかったよ。絵を
かいたらどうか。



どんぐりゴマを上手
に回すコツを教えて
もらったよ。



私も、もっと大きな
どんぐりめいろを
作ってみたい!



お兄さん、お姉さんが
考えた遊びなんだって。



園にもどってから…

小学校に入学
するのが楽し
みだね。



幼児教育・保育と小学校教育のカリキュラムに「交流」が入ることで、
どちらの学びにも広がりや深まりが生まれるようにすることが大切です!



育ちと学びがつながる

保幼小のつながりを意識して「日々の教育や保育」を行っていくことで、子どもの育ちと学びをつなげていきましょう。

みんなで話し合ってみましょう

たとえば
こんなメンバーで

- 園長・校長
- 地域の方・保護者
- 保幼小連携担当
- 学校運営協議会委員
- 5歳児担任・1年生担任
- 行政担当者
- など

子どもに関わる様々な立場の大人が協働して！

こんな「視点」で話し合ってみましょう



まずは
ここがスタート！

子どもたちの実際の姿

目の前の子どもたちの
具体的な姿やこれからの
育ちの可能性

地域でこんな子どもを
育てたい！

めざす子ども像

園や小学校だけでなく、
地域や家庭みんなで考
える子ども像

そのためにはこんな
力を育むことが必要。

育みたい力

育みたい資質・能力、重
点を置きたい10の姿、
ねらい など

力を育めるような活動や
学習を考えよう。

育ちと学びのつながり

園での活動と小学校の
学習のつながり

どんな人とのつながりが、
子どもの育ちと学びを豊か
にするかな？

人のつながり

子ども同士、先生、地域
の方、家族など、様々な
人とのつながり

つながりが充実する
ように、こんな工夫や
配慮をしよう。

指導上の配慮事項

環境構成や先生の関わり
り方の工夫 など

いろいろな方法で話し合ってみましょう



育みたい力

表や付箋を使って可視化と整理

小学校では、がんばりぬく力を育てたいのです。



園では、小学校につながる力がたくさん育っていますよ。

園では、子どもたちが季節の自然物を使って遊んでいますよ。

子どもたちの主体性を引き出す環境構成の工夫をしています。



園では、子どもが季節の変化に気付くことができるようにどんなことをしているのですか？

園での工夫を、小学校につなげていくためには…。

生活科の教科書を一緒に見ながら

話し合ったことを「**架け橋期のカリキュラム**」に！

「架け橋期のカリキュラム」を作る過程で

同じ視点で話し合い、互いに理解し合う

ことを大切にしましょう！

キーワードは
「対話」！

山

山口県ではこんなことに取り組んでいます！

幼児教育・保育長期研修

山口県では、平成16年度から、小学校教員を1年間、就学前施設に派遣し、幼児教育・保育を理解し、小学校教育へとつないでいくための研究を行っています。
(令和4年度までで、のべ76名)



保幼小連携研修会



保幼小連携・接続に関する講演会、保幼小の先生がともに語り合い相互理解を深めるための協議、公開保育・授業、事例発表を含む研修会等を行っています。

幼児教育アドバイザー

山口県には、保幼小連携に係る幼児教育アドバイザーがいます。市町や園・学校の研修で、保幼小連携・接続について、講演等を行っています。



今知って
おきたい!

連携・接続のキーワード

幼保小の 架け橋プログラム

※「幼保小の架け橋プログラム」は、子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにすることをめざすものです。

※山口県では、子どもの成長していく過程にならない、「保幼小」としています。

手引きや動画もあります!

幼保小の架け橋プログラムの実施に
向けての手引き(初版)

令和4年3月31日
文部科学省

詳しくは、文部科学省のHPへ!

幼保小の架け橋プログラム



カリキュラムの イメージ

架け橋期のカリキュラム

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育・保育と小学校教育の関係者が連携して作成するものです。

	0歳～	5歳児	小学校1年生	小学校2年生～
共通の視点として 考えられる項目例		4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3	4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3	
①期待する子供像				
②遊びや学びのプロセス				
③園で展開される活動／小 学校の生活科を中心とし た各教科等の単元構成等				
④指導上の配慮 事項	先生の 関わり 子供の学びや生 活を豊かにする 園の環境の構 成、小学校の環 境づくり等	5歳児～小学校1年生【架け橋期。0～18歳の学びの連続性に配慮】について。 ・共通の視点から考えてみよう ・既存の5歳児4月からの教育課程・指導計画を見直してみよう（架け橋期のカリキュラムにおける5歳児のカリキュラムの位置づけについても考えてみよう） ・既存の小学校1年生の教育課程・指導計画を見直してみよう（架け橋期のカリキュラムにおけるスタートカリキュラムの位置づけについても考えてみよう）		
⑤子供の交流				
⑥家族や地域との連携				

Point!

5歳児から小学校1年生
までの2年間の「架け橋
期」について考えましょう。

園と小学校がバラバラに
作るのではなく、共通の視
点で貫きましょう。

「カリキュラム」の形にすることで、担任や担当が変わっても、子どもの育ちと学びのつながりが保障されます。作成した後も、子どもに関わる大人みんな
で、カリキュラムの実践、検証、改善のサイクルを回していきましょう。

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

〒753-8501 山口市滝町1番1号(県庁15階)

Mail:a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

Tel:083-933-4450 Fax:083-933-4456

